

各位

ニュートリノビームライン室の変更使用について

平成14年12月20日

放射線取扱主任者

柴田徳思

放射線発生装置使用室であるEP1及びニュートリノビームライン室の性能の最大出力を、 $6.912 \text{ GeV} \cdot \mu\text{A}$ ($3.6 \times 10^{12} \text{ pps}$)に増強する変更申請については、平成14年3月8日付けで文部科学省より承認されておりましたが、機構内検査を平成14年12月20日に行い、最大ビーム強度にかかるインターロックが、申請内容通りであることを確認しました。これにより12月20日付けで変更使用を許可しましたのでお知らせします。

当該主幹等：中村健蔵

放射線発生装置責任者：高崎 稔

放射線担当者：佐藤任弘

放射線区域責任者：三浦太一

配布先：機構長、素核研所長、物構研所長、加速器施設長、共通施設長、

素核研副所長、物構研副所長

(素核研)中村(健)、高崎(史)、小林(誠)、野村、高崎(稔)、
佐藤(任)、ビームチャンネル職員

(加速器施設)黒川、小林(仁)、生出、榎本、佐藤(康)、川久保、
各区域放射線担当者、放射線管理室員、職員安全係、各事務室